



一般社団法人日本癌治療学会 がんnavi通信

Vol.9
2024夏

がん相談支援センターとピアサポーターのネットワーク

がん医療ネットワークシニアナビゲーター 木川 幸一

これまでの経緯

北海道において、がん患者さんやご家族が相談できる場として、がん相談支援センターのほか、がん患者支援団体が開設している相談窓口や患者サロンがある。

患者サロンは、患者団体が開催する地域サロンのほか、がん診療連携拠点病院等が運営する患者サロンがあり、2015年当時は医療スタッフが運営、ミニレクチャー後の茶話会を開催する内容が主であった（サロン運営情報：北海道がんハンドブック2015）。サロン運営は、患者会の患者ボランティアに協力を得ているサロンもあったが、病院職員のみで運営している理由の一つには、無資格である患者ボランティアに個人情報保護、病院設備管理などの面から病院主催の患者サロン運営を任せることに不安を感じる声があった。

がんピアサポーターの活動の場と情報共有の場の提供、質の維持向上について検討している中、認定がんネットワークナビゲーター制度に着目し、2019年に北海道がんセンターの当時の院長である加藤秀則先生（現：名誉院長）が、北海道がん患者連絡会のがんピアサポーターに認定がんネットワークナビゲーター制度の重要性を伝え、がん相談支援センターと病院主催のがん患者サロンの運営協力に同意を得たピアサポーターに対して、資格取得費用を援助したこともあり、19名が資格取得し道内で活動を開始した。

【北海道がん患者連絡会】

広大な北海道には全道各地にがん患者団体や患者支援団体が数多く活動しています。より多くのがん種の、より多くの患者さんやご家族の切なる思いや願いを、行政や議会、医療機関などに発信するためこれらの活動団体と患者さん達が結束しようと北海道がんセンター当時の院長である近藤啓史先生の声掛けで2017年3月に設立し、初代代表世話人は近藤啓史先生、二代目代表世話人は加藤秀則先生（現：北海道がんセンター名誉院長、北海道対がん協会副会長）、三代目代表世話人は北海道がんセンター院長 平賀博明先生が就任している。

●4. 北海道がん患者連絡会加入団体

各団体の連絡先などについては、事務局へお問い合わせください。
平日 9:30～16:30
事務局:北海道がんセンター内 北海道がん総合相談支援センター
電話 011-811-9111(内線2311)
メール 100-mb05gas2@mail.hosp.go.jp

●団体会員28団体(2023年12月22日現在)

●患者団体

名称	活動内容	活動地域
Luxia (ラキシア)	子育て中にならなくなったお母さんたちのためのがんサロンです。がん治療や病後の悩みを毎月、月1回、月2回、月3回開催を行っています。	北海道全域
ペニバけの会	乳がん患者、乳がんの患者やご家族へ4～6回定期的に集まり、情報共有を行っています。	札幌
BEC北海道	NPO法人キャンサーネットジャパン(認定)がん体験者コーディネーターを取得した会員、及び同等の知識を持つ方により病院内、他でのピアサポート活動を行っています。	北海道全域
国話がん患者相談会(円高会)	がん患者さん、ご家族の皆さまと毎月1回サロンを開催(患者同士の情報交換、体験、質問等の機会など)しています。また、がんの病状や治療に関する必要とされる患者さんに無料で貸し付けを行っています。	道南
ピンクリボンin 道南	乳がん患者を中心にピンクリボン運動に賛同する方たちで構成されています。活動費や地域イベントでの啓発活動、講演会などを行っています。	空知管内を中心とした北海道全域
グループ・ネットワーク・ジャパン 道北道東	患者サロン「腫瘍」をテーマにランチ会や交流会、医療セミナー、電話相談、会費無料などを通して適切な医療情報や支那の情報を提供しています。	北海道全域
NPO法人 GSFERS北海道	がん患者とご家族が抱えるさまざまな悩みを情報交換し、サポートや相談の場を提供しています。	北海道全域
市民のためのがん治療の会	毎月1回の交流会(参加者同士の交流と疑問質問による)でも相談(第3水曜日13時から、北海道がんセンター2階)や講演会を開催しています。また、放射線治療後ケアセンター(オビニオン)の活用もしています。	北海道全域
骨軟部腫瘍の患者会	骨軟部腫瘍の患者、ご家族、医療及び医療従事者が分かる会として毎月一回開催する情報交換や勉強会などを行っています。	北海道全域

名称	活動内容	活動地域
北海道 難病・患者と家族の会	月に1度、対面・オンラインで難病(がん患者、ご家族(遺族を含む))が集い、医療関係者と交流し勉強会と会員相互の交流会を開催したり、難病に関する講演会や情報交換会に出席する活動、難病に関する啓発活動を行っています。	北海道全域
婦人科がん患者会 すすらん	婦人科がんの患者が3か月に1回集まり、情報交換、分ち合いの場として交流会を開催しています。その他他職種相談も行う予定です。	札幌
認定NPO法人 希望の会	情報発信、患者会連絡のサポート、交流会、アドボカシー活動を行っています。	全国
とちぎ女性がん患者の集い プリンシッス	がん患者サロンの運営、相談ピアサポート、手作りケア帽子、乳がんの作成、入浴時の啓発活動、がん検診の啓発やピンクリボン講演会を開催しています。	十勝管内
がんと向き合うピアの会「すまいるねっと」	深川市立病院「すまいるサロン」でのピアサポート活動のほか、がんに関する啓発活動および情報紹介、会員相互の情報交換と交流などを行っています。	空知を中心とした北海道全域
前立腺がん患者会 P&A北海道	北海道唯一の前立腺がん患者会。患者・ご家族が集い情報交換を行う「患者サロン」交流会を開催。また、オンライン(ZOOM)交流会(毎月1回)は毎月1回は全道からご参加いただいております。	北海道全域 ZOOMは全国
北海道がん患者会	銀髪が外線者達が、SNSを通じて情報交換や情報共有、日々の気持ち、交流し合いたいを行っています。活動場所は北海道がんセンター主催の集まり(がんオンラインサロン)月1回開催しています。	北海道全域
中道サポート キャンパイン隊	中道患者さんやご家族向けに毎月水曜日、ZOOM(月1)3時30分から、PC・スマホを通じて全国の患者・ご家族との交流を開催。中道サポートメール「みまもりハラス」から申込みください。	全国
旭川AYA世代患者サポート	・AYA世代患者会(対面、オンライン) ・AYA世代がらみおひろびの啓発活動 ・旭川医科大学小児科病棟での学習サポート、イベント企画	旭川市
顕微鏡がん患者会 千代田ネットワーク	AYA世代を中心とした患者会で、がん患者、ご家族、医療従事者を対象にした交流会(対面・オンライン)が月1回、専任、地域間わずらわしい距離やがんの啓発活動を行っています。	道管内 ZOOMは全国

●患者支援団体

名称	活動内容	活動地域
NPO法人 がんナビゲーター北海道	毎月1度、がん(乳がん)に関する専門医による講演会、後半はサロンを開催しています。また、電話相談も行っていきます。	北海道全域
ピンクリボンin 道南 Team PINK!	毎年、五輪野村フットボール場に合わせ、ピンクリボンフェスの開催、街頭啓発活動を通して乳がんの早期発見と早期診断を呼びかけを行っています。	道南・道南道庁
NPO法人 市民と共に創るホスピタリティの会	がん患者・ご家族のためのがんサロン、AYA世代患者会、健健健健支援隊、ウィックサロン、運動会などを開催しています。また、市民講座や会費などを通じて患者さんや市民にもがんに関する様々な情報発信を行っています。	札幌を中心とした北海道全域
NPO法人 キャンサーサポート北海道	「がんの闘り」-闘いの難しさから学校、医療、企業への派遣まで(費用対)を減らし、がんの闘いの負担と学校、医療関係者への負担や、ケアサポート・コミュニケーションに関する相談、がんサロンの運営を行っています。	北海道全域
ピンクリボンin SAPPORO	乳がん検診の重要性を、検診の必要性を訴えかけていくとともに、患者・医療関係者、市民の交流の場づくりを目指して啓発イベントや、がんと闘うチームにいたる方々を応援するなど、様々な活動を行っています。	札幌
がん患者・ご家族の支援会 em(えん)	十勝管内でがんサロンの運営や参加、会費の発行、個別ピアサポート、専任スタッフの派遣への参加を行っています。	十勝管内
がんサロンのあそび	毎月第3木曜日にがん患者・ご家族(がん種を問わず)が集まり、がんサロンとしてがんの正をオープンしています。	札幌
サロン おながん患者・ご家族・遺族会 NPO法人 おながん	がんサロンは、がん種問わず、どなたの市町村からも参加可能です。がん患者さん、ご家族、医療関係者も参加しています。サロン開催日以外、ホームページ、会費などを活用してがんナビゲーターが、がん患者・ご家族の悩みを相談できます。 【活動】毎月1回「がんサロン」開催 ●がん患者・ご家族支援会 ●1回1日「がん患者・ご家族」集い ●「おながん」-闘いの難しさから学校、医療、企業への派遣まで(費用対)を減らし、がんの闘いの負担と学校、医療関係者への負担や、ケアサポート・コミュニケーションに関する相談、がんサロンの運営を行っています。	恵庭市
NPO法人 Casurs Linkaid	北海道に暮らしががん経験者とご家族のためのwebサイト「がんナビゲーター」にアクセスし、がんに関する情報発信を行っています。また、SNS参加者同士の交流会を北海道内各地で開催しています。	北海道全域

(出展：北海道がんサポートハンドブック2024)

現在の活動

2024年5月現在、北海道の認定がんネットワークナビゲーターは36名（うちシニア13名）中、25名が北海道がんセンターに所属している。

認定がんネットワークナビゲーター資格所持者のピアサポーターにおいては、北海道がんセンターのほか道内のがん診療連携拠点病院等主催するがん患者サロンで患者支援に従事され、がん相談支援センターと連携した地域のがん診療連携活動を推進している。

また、認定がんネットワークナビゲーターとして、所属するがん患者支援団体において、会員に加え相談対応するがん患者さんに地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を提供する役割も担っているほか、北海道がん患者連絡会の役員として、地域におけるがん診療情報や医療サービス情報を収集し、行政などとも連携しながら積極的に活動している。

課題

認定がんネットワークナビゲーターは北海道内の各地域で活動している。2024年5月31日に開催した第38回北海道がん診療連携協議会がん専門相談実務者会議において、認定がんネットワークナビゲーターの業務内容など紹介させていただいた。会議開催前に認定がんネットワークナビゲーターとがん相談支援センターとの連携について、尋ねたところ、参加した16名の相談実務者のうち、連携したことがある相談員は2名であった。多くが連携したことがなく、名前も知らないと回答した相談員は5名であった。

	名前も知らない	名前だけ知っている	名前・役割も知っている
連携したことはない	5	7	2
連携したことがある	0	0	2



今回のアンケート調査から導かれた今後の課題として、認定がんネットワークナビゲーターの活動を行う上で、がん診療連携拠点病院・がん相談員との連携は不可欠である。北海道におけるがん相談員とシニアナビゲーターとの交流や相談員の勉強会等の集まりにシニアナビゲーターを招待するなどし、互いの情報を交換する。異動で担当変更したがん相談員にも配慮した、相談支援体制を構築していきたい。

=がんナビゲーターの活動はがん患者会の仲間と共に=

がん医療ネットワークシニアナビゲーター 野崎 安美

1.患者主導でがん医療の質向上をめざす近江の会

よりよいがん医療をめざす近江の会は、2015年8月にがん患者の呼びかけで発足しました。がんで苦しんでいる患者や家族の支えになりたい！という思いがこの会の始まりです。この活動に賛同した医師たちも加わり、現在では患者とがん専門医がタッグを組んで、小中学校での出前授業、企業研修、地元自治会でのがん教育などを行っています。活動の中心となっているのはがん患者であり、医療者と連携しながら様々な活動を展開しています。

現在、会員はがんサバイバー8名と顧問医1名、協力医2名、協力薬剤師1名の計12名ですが、この中にシニアナビゲーター4名、ナビゲーター1名、E-ラーニング受講中1名がいます。



2. がん啓発と患者支援



本会の活動目標は以下の3つです

- ・ 命を大切にする心をはぐくむ
- ・ がんの早期発見・治療の啓発
- ・ 納得のいくがん医療をめざす

これらの目標を達成するため、小中学校や自治会、企業などを訪問し、がんという病気の特徴やがん検診の重要性を理解してもらう活動を行うとともに、がんに罹患した人や家族を支援するためのハートケアサロンも開催しています。現在は、講演会活動も再開しました。

1) がん啓発：学校や行政・病院との連携

2017年度から、がんの授業・がんの出前講座を小中学校や市民、企業向けに提供しています。小中学校向けがんの授業は、2023年度末までに73回6,869人に対して行いました。（表1）当日は、医師による講演40分の後、がん患者が20分自身の体験を話しています。授業を行う際には、事前に学校や行政と十分連携し、生徒への配慮を含めた充実した内容に仕上げています。授業を通じて、「命の大切さ」を伝えることで、終了後には多くの子供達から「がんになってもあきらめない心が大事」「将来がんになっても前向きに生きたい」という感想を聞かせてもらっており、子供達の声が私たちの活動の励みとなっています。

2) 患者支援：患者・家族をつなぐハートケアサロン

2022年7月から、がん患者の心を軽くし、生きる喜びを感じていただくため、毎月1回ハートケアサロンを開催しています。これまでに23回開催し、延べ64人の利用がありました。がんナビ参加のもと、患者や家族の話をじっくり聞いています。また、開催にあたっては、がん相談支援センターとの連携を大切にして情報を共有しています。

参加者からは、「皆さんの元気な姿が素晴らしい。自分も頑張りたい。」「治療方法に迷っていたが、自分で決める決意をした。」などの声が毎回寄せられます。まだまだ新しいがん患者会ですが、「また来たい！」と思えるようなサロンになるよう努力を続けたいと考えます。

3. がんナビ認知拡大の必要性

がんナビ制度は2013年に始まり11年が経過しましたが、滋賀県ではまだほとんど理解されていないのが現状で、行政、病院、医療者、さらには他の患者会に対してもなかなか認識してもらえない状況です。今後は、がんナビの存在を広く認知してもらい、がん患者会活動の輪を広げていくため、まずがんナビであることを仲間とともにしっかりと名乗ることが重要だと考えています。問題点として、がんナビであるところを名乗らないこと、がんナビの認知不足が大きいと思うからです。

今後、課題解決のためには、①がんナビの存在を広めるための広報活動強化②地域の行政機関や医療機関との連携強化③がんナビの資格を持つメンバー自らが積極的に活動をアピールすることだと思えます。また、④活動内容を取りまとめ、地域の関係者や支援者に配布することで、がんナビの活動を広く知ってもらい、支援の輪を広げていくことも大切と考えます。

これらの取り組みを通じて、がんナビの認知度を向上させ、がん患者会の活動をより効果的に継続していきたいと考えます。

【表1】「がんの授業」実施状況

実施年度	実施学校数（校）	参加人数（人）
2017	14	1,646
2018	12	1,326
2019	10	896
2020 (コロナ禍)	1	94
2021	10	1,108
2022	13	810
2023	13	989
合計	73	6,869
※2024 (6月末予約状況)	14	約1,000

第62回日本癌治療学会学術集会naviプログラム

特別企画

テーマ：がんを知り，がんに向き合い，未来を生きるための絆：ネットワーク・ナビゲーターの役割

日時：2024年10月25日（金）10：00-11：30（学術集会2日目）

会場：福岡国際会議場 第12会場（5F 502）

認定がん医療ネットワークナビゲーター検証ワーキンググループによるワークショップ

日時：2024年10月24日（木）14：20～15：50（学術集会1日目）

会場：福岡国際会議場 第13会場（5F 503）

認定がん医療ネットワークナビゲーター交流会

テーマ：『ナビへのアクセシビリティ向上』～ナビへつなげるために～

日時：2024年10月25日（金）14：30～16：00（学術集会2日目）

会場：福岡国際会議場 第13会場（5F 503）

認定がん医療ネットワークナビゲータースキルアップセミナー

日時：10月26日（土）8:30～12:00

会場：福岡国際会議場 第4会場（2F 203）

認定がん医療ネットワークナビゲーターと委員による相互交流会

テーマ：アクセシビリティの向上を目指して 一病院研修における障壁の除去ならびに効率的ながん患者さんとのネットワーク形成—

日時：2024年10月26日（土）16：00～17：30（学術集会3日目）

会場：福岡国際会議場 第12会場（5F 502）



第61回日本癌治療学会学術集会
naviブース

プログラム参加には学術集会への参加登録が必要です。

2024/7/1

	シニアnavi	navi	e-LEARNING 受講者	受講者数		シニアnavi	navi	e-LEARNING受 講者	受講者数
北海道	12	13	7	32	滋賀県	4	0	7	11
青森県	0	6	1	7	京都府	1	1	3	5
岩手県	0	1	2	3	大阪府	3	19	22	44
宮城県	0	3	4	7	兵庫県	3	6	9	18
秋田県	1	13	2	16	奈良県	0	3	2	5
山形県	2	10	4	16	和歌山県	0	0	0	0
福島県	1	7	10	18	鳥取県	0	2	1	3
茨城県	0	3		3	島根県	0	1	1	2
栃木県	0	1		1	岡山県	1	4	4	9
群馬県	3	8	14	25	広島県	1	7	5	13
埼玉県	7	5	28	40	山口県	0	2	3	5
千葉県	1	9	16	26	徳島県	1	0		1
東京都	3	55	69	127	香川県	0	2	1	3
神奈川県	4	16	35	55	愛媛県	1	3	3	7
新潟県	2	4	7	13	高知県	0	2	2	4
富山県	0	0		0	福岡県	11	142	62	215
石川県	0	1	3	4	佐賀県	1	6	6	13
福井県	0	1	2	3	長崎県	0	10	14	24
山梨県	0	0	2	2	熊本県	7	31	38	76
長野県	0	3	6	9	大分県	2	20	12	34
岐阜県	2	5	5	12	宮崎県	0	1		1
静岡県	1	9	4	14	鹿児島県	0	3	7	10
愛知県	2	10	16	28	沖縄県	0	2	7	9
三重県	3	3	4	10	合計	80	453	450	983

編集：広報ワーキンググループ委員長：森田 勝(九州がんセンター)

連絡先：一般社団法人日本癌治療学会 navi@jsco.or.jp